

令和5年度学校評価基準（最終評価）

本年度の 重点目標	① 自立活動の実践的な指導力の向上に向け、校内支援体制を整える。 ② 活動の場に応じた感染症対策を行い、安心・安全な学習環境をつくる。		
項 目	重点目標	具体的方策	評価と課題
自立活動の 実践的指導 力の向上 教務部 自立活動部 研修部 小中高共通	職員へ自立活動の啓発活動を行うとともに、自立活動の指導を行いやすい環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動啓発のための通信「じりツイート」を発行し、本校の自立活動の実践や教材教具等を紹介する。 教材教具を整理し、活用しやすくする。 教務部と自立活動部が連携して年間指導計画の見直し、改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の指導・支援に関する内容について、あらゆる視点からの情報収集に努め、年7回発行した。 教材教具を一覧にまとめ、教員が活動しやすいように教材をまとめた。児童生徒の実態に応じて簡単に作成できる教材教具の紹介を行った。 年3回の自立活動検討会を通して、自立活動の指導内容の改善や年間指導計画の見直しをする場を設けた。
	校内研究や現職研究で実践と検証を繰り返しながら検討し、指導力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 教務部、研修部、自立活動部が連携し、自立活動についての研究を学級やグループ単位で行い、実際の指導に生かす。 指導の計画、実践、振り返り、改善を繰り返し、指導力の向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動部と連携して現職研修を実施し、「時間における指導」や「自立活動」の理解を深めることができた。 「時間における指導」の実践をし、振り返りや改善点の検討を行うことができた。また、各部で報告会を行い、本年度の実践の共有ができた。
安全安心な 学校づくり 総務部 保健体育部 生活指導部 安全衛生委員会 小中校共通	小学部棟改修工事に伴う学習活動等への影響を最小限に留める。	<ul style="list-style-type: none"> 工事個所や時期、使用教室所について教職員に周知する。 工事関係者との打ち合わせを毎週行い、工事個所や騒音の有無等を事前に把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事に関わる予定表を教職員に知らせ共有できた。 各部から出た要望を確実に工事業者に伝え、可能な限り授業等に影響が出ないように行った。
	新たな健康習慣をふまえ、活動の場面に応じた感染症対策を提案する。	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習や合唱など、感染リスクが高い学習活動の実践について、対策や基準となる方針を打ち出す。 感染経路を断つために、換気、手洗い、場面に応じたマスクの推奨を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習の再開については、家庭科の職員と対策などを話し合い、食に関する検討委員会で方向性を定めた。手洗いの励行や調理台の消毒方法などを共通理解し、衛生管理を徹底して活動することができた。 換気と手洗いは定着した。しかし、寒い時期は不十分になりがちなので、引き続き励行を呼び掛けていきたい。
	安全安心な登下校指導の体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安定的なスクールバスの運行を推進する。 緊急時の訓練を計画的に実施する。 自力通学生への下校指導を継続的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題が生じたときには、添乗職員やバス会社などと連携を図り、早期解決することができた。 訓練後の反省を踏まえ、実施計画や安全マニュアルの見直しを行った。 毎日の下校指導や定期的な通学指導を行ったり、公共のマナーについて生徒に確認したりするなど継続的に指導を行った。
いじめに対 する取組 生活指導部	風通しのよい職場環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な職場環境にするための意見を募集し、安全衛生委員会で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出された意見をもとに校内の危険個所を確認し、危険物の撤去や移動を行った。環境改善を求める意見を安全衛生委員会で検討し、改善につなげた。 安全衛生委員会で検討した内容については、掲示板等で全職員が閲覧できるようにした。
	児童生徒が悩みを一人で抱え込まないよう学校全体で組織的に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 年に2回、生活アンケートを実施する。 児童生徒の様子について、関連職員で情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの結果や生徒との関わりの中でいじめの前兆と取れる案件について直ちに情報を共有し、適切に対応することができた。いじめは許されないことという考えを、生徒が意識できるように、授業や部集会などで定期的に指導する必要がある。
職員の労働 環境 安全衛生委員会	職員の在校時間適正化を図り、健康障害の防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間の正確な把握に努める。 毎週金曜日に定時退校日を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 月曜日から木曜日までの学校施設時間を30分繰り上げたことで、在校時間の延長が減ってきた。 毎週金曜日に定時退校とすることが負担になっていないか、回数や曜日の希望などを確認した。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の実践的指導力の向上 安心・安全な学校づくり 		